

漏斗胸の治療のため、 当院に入院・通院された患者さんの胸部 CT を用いた 医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 形成外科 職名 講師
氏名 坂本 好昭
連絡先電話番号 03-5363-3814

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2010 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までの間に、形成外科にて漏斗胸の治療のため入院し、漏斗胸手術(ナス法)を受けた 16 歳以上の方

2 研究課題名

承認番号 20190243

研究課題名 漏斗胸 Nuss 法術後の胸郭形態の後戻りの関する検討

3 研究実施機関

研究機関	研究責任者
慶應義塾大学医学部形成外科	坂本 好昭

4 本研究の意義、目的、方法

漏斗胸とは、胸の正面にある胸骨の一部が陥凹することにより、胸郭が変形する病気です。現在、漏斗胸のスタンダードな治療法は Nuss 法とよばれる手術による胸郭の矯正手術です。数年の矯正終了後に、胸骨後面に挿入したバーの抜去を行いますが、抜去後の後戻りに関しては検討されておられません。

本研究は、バー抜去する前とした後での胸部 CT を比較することで、後戻りの程度とそれに寄与する因子について検討を行います。

5 協力をお願いする内容

性別、手術時年齢、留置したバーの本数、留置期間、術前術後の CT 画像といった診療情報を利用します。

本研究のために新たに検査を行うことはありません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日 ~ 2021 年 12 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、性別、手術時年齢のみです。その他の個人情報（患者 ID、氏名、住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報は結びつけられない状態で管理します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供（研究内容に応じて適宜記載）の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 形成外科学教室 03-5363-3814

実務責任者 坂本 好昭

問い合わせ時間：月曜～金曜日(9:00-17:00)